

北海道教育委員会教育長 様

北海道浜頓別高等学校長
佐々木 淳

次のとおり平成27年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

<p>目標に向かって心豊かで、たくましく、主体的に行動できる生徒の育成を目指す。</p> <p>(1) 進んで学習に取り組む意欲・態度を培い、自ら学ぶ心の育成に努める。 (2) 基本的生活習慣を身につけるとともに、奉仕の心の育成に努める。 (3) 何事にも積極的に参加し、困難に打ち克つ、健康な心の育成に努める。</p>

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 地域や生徒の実情を踏まえた教育課程を編成し、適切に実施した。 各科目においては、個に応じた指導の工夫など授業改善に努めた。 高校間連携事業も利用して習熟度別授業や少人数教育に取り組み、基礎・基本の定着に効果を上げた。 各種検定取得に対する指導を適切に行った。 生徒が授業に参加する態度は良好だが、自ら学ぼうとする姿勢が弱く、家庭学習時間も不十分である点に課題がある。 授業改善に関する研究・研修が十分でなかったとする自己評価が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 科目選択は、生徒の希望に合わせ適切に行われている。 生徒の進路を意識して授業が進められおり、各種検定取得の指導も適切に行われている。 生徒が学習に意欲的に取り組めるような授業の工夫、宿題など家庭学習を促す取り組みをより充実して欲しい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育と学習の関連を活かすなどにより、生徒の目的意識向上を図る。 家庭学習時間の増加に向けた対策を取る必要があり、教員間の連携、家庭との連携等により、組織的かつ効果的な取り組みを検討する。 教科研修や校内研修の充実、とりわけ授業の相互見学による授業力向上を図る。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻や欠席、頭髪・服装の指導を適切に行った結果、概ね良好な結果が得られた。 教育相談の充実については課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的生活習慣や服装・頭髪指導は適切に行われている。 教育相談の取り組みをより充実して欲しい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談に関する研修を深め、教員個々の教育相談スキルを高めるとともに、外部諸機関との連携も視野に組織体制の構築について検討する。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 特進講習やキャリア教育の諸事業（1年上級学校企業訪問、2年インターンシップ、3年キャリア卒業研究）を計画的に実施し、生徒の進路意識形成において良い効果を上げた。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒にとって必要な進路指導やキャリア教育が適切に行われている。 将来地元に戻り活躍する人材の育成にさらに取り組んで欲しい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 地域の組織や地域の人材との連携を強め、キャリア教育の一層の充実を図る。 進学や就職といった多様な進路に対応する指導法の改善を図る。 	
保護者・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 周辺3町村の教育委員会や地元OBなど地元との連携を強めることができた。なお、この連携の下で「浜高応援」チラシの3町村全戸配付が実現し、本校のPRをすることができた。 地元事業所との協力により、新たな体験型授業（理科、家庭科）を実施できた。 P T A活動への保護者の参加を積極的に促したが、十分な参加とはならなかった。 学校情報紙・P T A会報（今年度はカラー化した）を地域に配付するなど、本校の情報を地域や保護者に積極的に発信した。 ボランティア活動については、ボランティア局を中心に活発に取り組み、地域の期待に応えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙やホームページを通じた地域への教育方針の説明や教育活動の報告が適切に行われている。 保護者から、学校の諸行事に積極的に参加できないという声があった。 地域と連携した教育活動をより一層充実して欲しい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 地域との連携のさらなる強化。 P T A研修アンケートなどを活用し、P T A活動の活性化の方向を模索する。 広報活動の継続及び充実。 	
公表方法	学校ホームページ・学校だより第3号・第3回評議員会において公表	